



# BUSINESS REPORT

第105期 報告書

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、  
平素から格別のご支援を賜わり、  
厚く御礼申し上げます。  
ここに小松精練株式会社  
平成29年3月期の  
（平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで）  
業績についてご報告申し上げます。



## 財務ハイライト

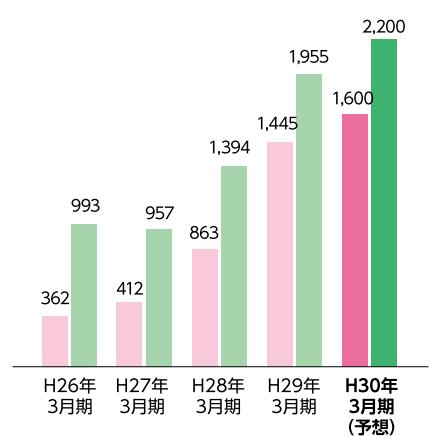
### 売上高

■ 売上高(百万円)



### 営業利益・経常利益

■ 営業利益(百万円)  
■ 経常利益(百万円)



当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済に関してはアジア新興国等の景気減速の懸念や米国新政権の政策運営に対する懸念などの不確実な動きから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは高度化並びに多様化する市場の要望に対応するため生産技術と生産効率の向上を図るとともに、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させました。また、海外企業との提携を含め、海外市場の拡大を積極的に進めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は35,872百万円(前期比5.6%減)となり、営業利益は1,445百万円(前期比67.5%増)、経常利益は1,955百万円(前期比40.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,431百万円(前期比65.6%増)となりました。

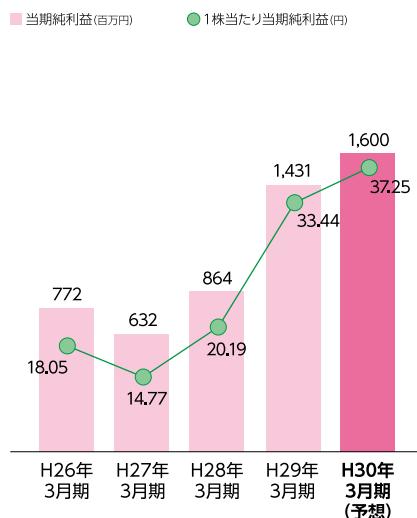
この業績を踏まえ、当期の期末配当につきましては、普通配当は1株当たり6円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり12円となります。

今後におきましては、ファブリックを通して、美・健康・快適・安全・環境の5つのテーマを軸に、人々の生活を豊かにする素材の開発・製造・販売に努めてまいります。また、激しい経営環境の変化に適切に対応し、グループ企業全体の事業活動の効率化、収益性の向上、キャッシュ・フロー重視の経営を行うとともに、地球環境保護、低エネルギー社会への対応やコンプライアンスを重視した経営を行ってまいります。

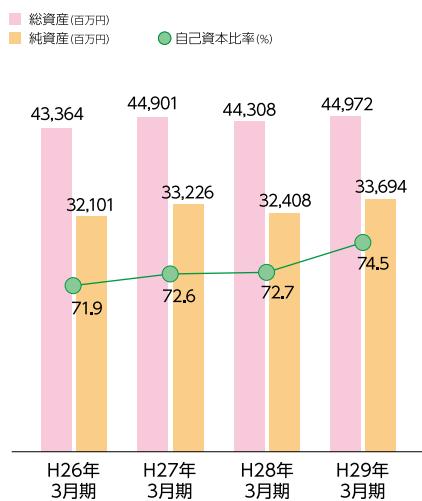
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 池田哲夫

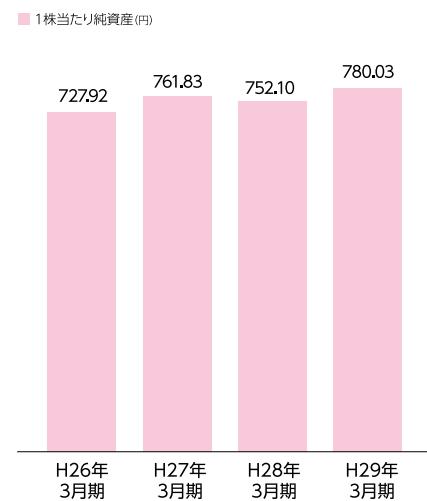
### 当期純利益・1株当たり当期純利益



### 総資産・純資産・自己資本比率

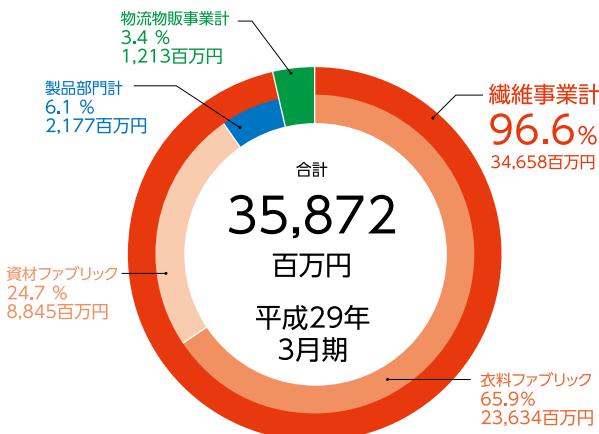
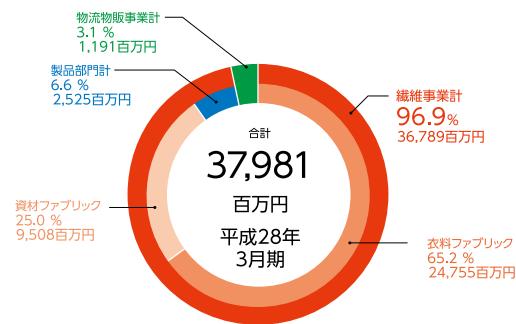


### 1株当たり純資産



# 財務ハイライト

## ● 事業別売上状況 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



■ 織維事業(■衣料ファブリック + ■資材ファブリック + ■製品部門) ■ 物流物販事業

## 〔 織 維 事 業 〕

衣料ファブリック部門は、海外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりましたが、中でも中東向け民族衣装が順調に拡大しました。しかしながら、ファッショングループ分野及びスポーツ分野ともに為替の影響を受け減少しました。一方、国内向けはファッショングループ、スポーツ分野ともに低迷し、当部門全体は減収となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野は計画通り好調に推移する一方、リビング分野や、車両、生活関連資材分野が前年同期を下回り、当部門全体は減収となりました。

製品部門は、計画通り不採算部門の見直しを継続しており減収となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当事業の売上高は34,658百万円(前期比5.8%減)となりました。

## 〔 物 流 物 販 事 業 〕

物流並びに物販分野は順調に増加し、当連結会計年度の売上高は1,213百万円(前期比1.8%増)となりました。

## 〔 国 内 売 上 高 〕

医療・福祉分野が順調に推移するも、スポーツ分野及び車両、リビング分野が低迷し減少。結果、前期比8.3%減の23,153百万円となりました。

## 〔 海 外 売 上 高 〕

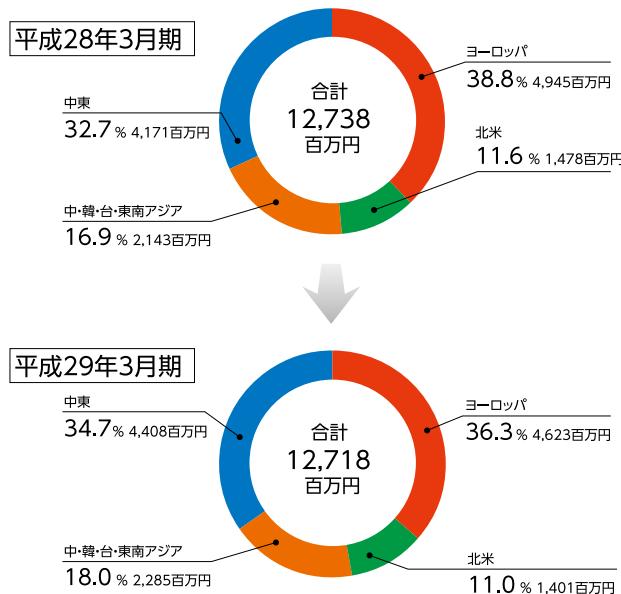
中東向けが順調に拡大。しかし、主力の欧州向けファッショングループは堅調ながらも為替の影響を受け減少。結果、前期比0.2%減の12,718百万円となりました。

## 〔 次期の見通し 〕

### ● 消費地別売上状況 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



### ● 海外壳上高の内訳



次期の経営環境については、企業収益や雇用環境の改善等により国内経済は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済に関してはアジア新興国・資源国等の景気減速の懸念などから、依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

このような環境の中、当社グループは引き続き高付加価値商品の開発に努め、海外市場並びに非衣料分野の拡大を図るとともに、生産性向上と事業領域拡大による機動的経営を推進してまいります。

#### ①生産性向上にむけた施策実行

製造現場をはじめとする全部門による業務のスピードアップと生産納期の短縮を進めることにより、生産性向上を実現してまいります。生産性を高めるため、計画的に設備投資を続け、市場や用途を踏まえ技術と技術、商品と商品を繋げてゆくとともに、引き続きお取組先と緊密に連携してまいります。

#### ②先端技術を活かした新たな価値の創造

高次加工、デジタルプリント、炭素繊維複合材料などの先端技術を活かし、これまでとは異なる用途展開を図り、新たな価値を生み出します。

また、「美・健康・快適・安全・環境」の5つのテーマを軸に、異業種・異業界との協業や取り組みによるイノベーションを創出し、新たな商品の開発やこれまでにない市場の開拓を目指します。さらに、産官学による戦略的連携や適地生産のための水平連携を組み合わせ、既存事業においても技術開発を加速させてまいります。

#### ③海外市場・非衣料分野の強化

海外市場並びに非衣料分野の拡大を積極的に進めてまいります。中東向けの民族衣装では高品質かつコンペティティブな素材の供給を維持し、中国においては蘇州工場を拠点に中国国内のみならず欧州市場をも視野に入れ、海外メーカーとの協業を図り、生産・販売拡大を目指します。

また、中国以外でも海外売上高の拡大を目標に掲げ、国内外の業務提携企業とさらなる関係強化を図ってまいります。さらに、当社の強みであるファッショング衣料分野と同様に、非衣料分野へも継続的に経営資源を投入し、海外でのブランディング向上と市場開拓強化により成長を目指します。

これらの取り組みをグループ一丸となり推進する事により、平成30年3月期の業績を左記通り見込んでいます。

次期の見通し (平成30年3月期)	前期比
売上高	38,000 百万円
営業利益	1,600 百万円
経常利益	2,200 百万円
当期純利益	1,600 百万円
	5.9%増
	10.7%増
	12.5%増
	11.8%増

# カボコーマが重要文化財の耐震補強に採用

当社の熱可塑性炭素繊維複合材料「カボコーマ・ストランドロッド」が長野県にある本堂が国宝としても知られる善光寺の境内にある重要文化財「経蔵」(きょうぞう)の耐震補強工事に採用されました。善光寺の経蔵は1759年に建立、老朽化が進んでいたため2014年から保存修理事業が進められています。

今回の重要文化財の善光寺経蔵保存修理工事に在来工法(鉄筋ブレース)ではなく、『カボコーマ・ストランドロッド』が採用された理由として、以下の特徴が上げられます。

## 在来工法(鉄筋ブレース)とカボコーマとの違い

- ◎軽量で強度が高く、文化財建造物への負担が小さい
- ◎剛性が鉄より低く、木材により近い
- ◎錆びず、結露もしないので経年劣化や木材を腐食させにくい
- ◎柔軟性があり、配置の自由度が高い

## カボコーマを伝統木造建造物の補強に利用する利点

- ◎巻いた状態で搬入が出来るため、上部の小屋組に搬入しやすい
- ◎長さに制限が無い
- ◎軽量なので、長くてもたわみが少ない
- ◎強度が高く、棒鋼より細くできる
- ◎木部財を傷つけない

このように、カボコーマ・ストランドロッドは、木材との相性の良さ並びに施工性の高さが高く評価されています。

今回の善光寺での事例は当社のカボコーマの可能性を大きくアピールする絶好の機会となり、今後も重要文化財の補強材として採用が期待されます。



CABKOMA®

※『カボコーマ・ストランドロッド』炭素繊維を芯材に使用した柔軟なロッド状の炭素繊維複合材。鉄と比べ軽量で強度も高く、錆びず耐久性にも優れています。



経蔵 宝曆九年(1759年)建立 写真提供 善光寺



屋根部分に10mのロッドを筋交い状に16本使用

# 建築家 隈研吾氏監修 「ポートランド日本庭園」の 屋上緑化に『グリーンビズ』を採用

「ポートランド日本庭園」(米国・オレゴン州ポートランド<sup>\*1</sup>)において、2017年4月2日にオープンした「Cultural Village (カルチュラルビレッジ)」(世界的建築家、隈研吾氏監修)の建物の屋根に、『greenbiz®(グリーンビズ)』が採用され、人気を博しています。

ポートランド日本庭園は1967年開園の日本庭園で、日本以外に立地する日本庭園の最高峰とも言われる庭園です。同庭園が開園して以来初となる拡張プロジェクトを、世界的な建築家である隈研吾氏が手がけており、新設されたカルチュラルビレッジの建物の屋根に『greenbiz Roof(グリーンビズ・ルーフ)』を緑化材として採用したものです。(使用面積700m<sup>2</sup>)

隈研吾氏は、“『グリーンビズ・ルーフ』は環境・周囲の景観に



greenbiz®

配慮し、雨水調整機能を持った日本製のハイテク素材。その外観と機能性は、世界でも最も先進的に環境対策に取り組む自治体のひとつであるポートランドのグリーンインフラ<sup>\*2</sup>の推進に対する考え方とも合致しており、今回の日本庭園の拡張工事にふさわしいと考えた。”と語っています。

『グリーンビズ・ルーフ』は、デザイン的にも古来より日本で見られた茅葺き屋根を彷彿とさせており、その特徴である優れた透水・保水性により、雨水を浸透させ、ゆっくりと流水させることで、大雨時の雨水対策にも効果的です。

今回の世界が注目する建築家が手がけた世界的に評価が高い施設への採用は、グリーンビズの海外展開に向け絶大なPRになったといえます。



\*1ポートランド／アメリカ合衆国オレゴン州北西部マルトノマ郡にある都市。ポートランドは環境に優しい都市であるとされ、その評価は全米第1位

\*2グリーンインフラ／自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用計画。

## 非衣料分野拡大に向けシナジー効果を最大限に発揮 株式会社セイホウをグループ会社化

当社は2017年3月に、栃木県足利市に本社を構える機能性繊維素材を製造販売する株式会社セイホウを子会社化致しました。

(株)セイホウは1970年(昭和45年)に設立、「糸から製品までを一貫生産する」をモットーに掲げ、自ら原糸を調達し編み立てた「生機販売」、面ファスナーや硬質メッシュ等の「テキスタイル販売」、サポーターやコレセット等の自社とOEMによる「製品販売」など、多角的に健康・ヘルスケア業界を中心に様々なニーズと価値創造へ向けた素材作りを行っています。

当社はこの度の子会社化による相乗効果をねらい、セイホウの独自技術・差別化された商品群と、当社の持つ高次加工技術の融合を図ることで新製品の開発をめざします。さらに、当社の経営資本、ブランド力、販路を最大限に活用し、営業力強化と新規顧客層の開拓を行います。

このように当社グループの事業領域の拡大につなげるとともに、セイホウの安定した収益基盤との統合を図ることにより連結収益のさらなる増加を見込んでおります。



### 株式会社セイホウの概要

商 号	株式会社セイホウ
本社所在地	栃木県足利市西新井町3247番地
設 立	昭和45年
事 業 内 容	健康関連素材の企画及び製造販売
代 表 者	代表取締役社長 東條 栄子
資 本 金	10百万円
売 上 高	559百万円(平成28年9月期)

# テキスタイル国際見本市「プルミエール・ヴィジョン」で 新・触感スエード素材 「KOMASUEDE(コマスエード)」発表

2017年2月7日から9日の3日間、フランス・パリで「プルミエール・ヴィジョン2018春夏(PV)」が開催され、当社は14年連続29回目の出展を行いました。

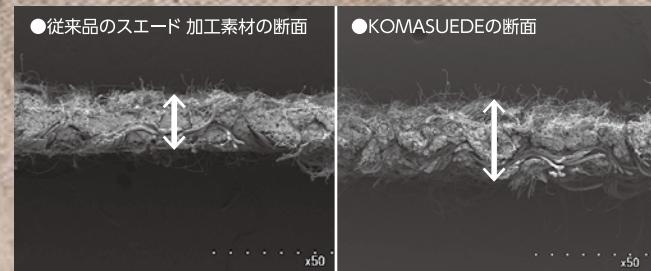
会期2日目に当社ブースにおいて新・触感スエード素材「KOMASUEDE(コマスエード)」を発表しました。「コマスエード」は、当社ブースに訪れたヨーロッパのラグジュアリーブランドのデザイナーやバイヤーからの注目を集め、多数のピックアップを獲得するなど高い評価を得ました。この発表を皮切りに、全世界に向け販売を開始しております。



## コマスエードの特長

コマスエードは、革では出来ない新触感のスエード素材を目標に加工技術及び加工設備と薬剤の開発により誕生しました。従来のスエード素材に比べ独自のボリューム感、弾力性とマイクロな触感に加えて、これまでになくエアリーで手に吸い付くようなタッチの高級スエード感が特長です。

※従来の加工素材に比べ、およそ2倍のふくらみ感が得られた実証データを取得しました。



# 財務データ

## 連結貸借対照表の要旨

平成29年3月31日現在

単位:百万円

### ●資産の部

科目	当期	前期	増減
<b>流動資産</b>	<b>18,868</b>	<b>18,734</b>	<b>133</b>
現金及び預金	4,332	4,179	153
受取手形及び売掛金	7,990	8,063	△ 73
有価証券	2,000	1,400	600
たな卸資産	4,133	4,721	△ 588
繰延税金資産	283	266	17
その他	159	146	13
貸倒引当金	△ 31	△ 42	11
<b>固定資産</b>	<b>26,104</b>	<b>25,574</b>	<b>529</b>
有形固定資産	8,760	9,272	△ 512
建物及び構築物	3,456	3,864	△ 408
機械装置及び運搬具	2,585	2,630	△ 45
土地	2,320	2,259	60
建設仮勘定	22	59	△ 37
その他	375	458	△ 82
無形固定資産	361	270	91
投資その他の資産	16,982	16,031	950
長期預金	—	2,000	△ 2,000
投資有価証券	15,777	12,570	3,206
繰延税金資産	336	540	△ 203
その他	869	921	△ 52
貸倒引当金	△ 1	△ 1	0
<b>資産合計</b>	<b>44,972</b>	<b>44,308</b>	<b>663</b>

### ●負債の部

科目	当期	前期	増減
<b>流動負債</b>	<b>6,821</b>	<b>7,529</b>	<b>△ 708</b>
支払手形及び買掛金	4,816	5,051	△ 234
短期借入金	—	212	△ 212
未払法人税等	324	281	42
賞与引当金	412	395	17
その他	1,267	1,589	△ 321
<b>固定負債</b>	<b>4,457</b>	<b>4,371</b>	<b>86</b>
退職給付に係る負債	3,742	3,636	105
役員退職慰労引当金	494	479	15
その他	220	254	△ 34
<b>負債合計</b>	<b>11,278</b>	<b>11,900</b>	<b>△ 622</b>

### ●純資産の部

科目	当期	前期	増減
<b>株主資本</b>	<b>31,501</b>	<b>30,483</b>	<b>1,018</b>
資本金	4,680	4,680	—
資本剰余金	4,702	4,662	39
利益剰余金	22,197	21,280	917
自己株式	△ 78	△ 140	61
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,998</b>	<b>1,712</b>	<b>285</b>
その他有価証券評価差額金	1,774	1,289	485
為替換算調整勘定	201	398	△ 197
退職給付に係る調整累計額	22	25	△ 2
<b>非支配株主持分</b>	<b>194</b>	<b>212</b>	<b>△ 17</b>
<b>純資産合計</b>	<b>33,694</b>	<b>32,408</b>	<b>1,286</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>44,972</b>	<b>44,308</b>	<b>663</b>

### 連結損益計算書の要旨

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

単位:百万円

科目	当期	前期	増減
売上高	35,872	37,981	△ 2,109
売上原価	28,233	30,715	△ 2,482
売上総利益	7,639	7,265	373
販売費及び一般管理費	6,193	6,402	△ 209
<b>営業利益</b>	<b>1,445</b>	<b>863</b>	<b>582</b>
営業外収益	574	565	8
受取利息	61	55	6
受取配当金	134	121	13
持分法による投資利益	274	234	40
その他	103	155	△ 51
営業外費用	64	34	29
支払利息	5	7	△ 1
為替差損	46	3	42
その他	12	23	△ 11
<b>経常利益</b>	<b>1,955</b>	<b>1,394</b>	<b>561</b>
特別利益	51	9	41
固定資産売却益	0	2	△ 1
投資有価証券売却益	50	6	43
特別損失	166	111	54
固定資産売却損	0	0	△ 0
固定資産除却損	39	107	△ 68
投資有価証券売却損	44	3	40
その他	82	—	82
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,840</b>	<b>1,292</b>	<b>548</b>
法人税、住民税及び事業税	429	377	51
法人税等調整額	△ 22	76	△ 98
<b>当期純利益</b>	<b>1,433</b>	<b>837</b>	<b>595</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	1	△ 26	28
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,431</b>	<b>864</b>	<b>567</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

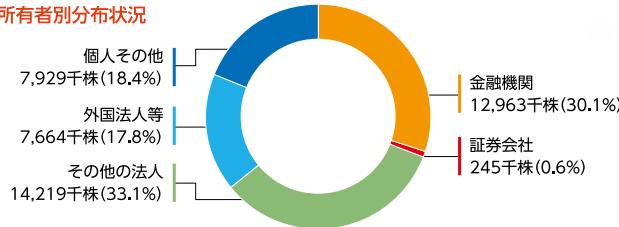
単位:百万円

科目	当期	前期	増減
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,480</b>	<b>2,547</b>	<b>933</b>
税金等調整前当期純利益	1,840	1,292	548
減価償却費	1,411	1,219	192
引当金の増減額(減少:△)	△ 12	△ 14	1
売上債権の増減額(増加:△)	95	△ 403	498
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 253	△ 319	65
たな卸資産の増減額(増加:△)	574	1,260	△ 686
法人税等の支払・還付(支払:△)	△ 511	△ 308	△ 203
その他	337	△ 178	515
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 3,490</b>	<b>△ 3,236</b>	<b>△ 253</b>
固定資産の取得による支出	△ 1,587	△ 2,334	746
固定資産の売却による収入	1	9	△ 8
定期預金の預入・払戻(預入:△)	2,450	—	2,450
有価証券の取得・償還(取得:△)	△ 2,000	1,300	△ 3,300
投資有価証券の取得・売却(取得:△)	△ 2,238	△ 2,204	△ 34
その他	△ 115	△ 6	△ 108
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 741</b>	<b>△ 897</b>	<b>156</b>
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 192	34	△ 227
配当金の支払額	△ 509	△ 537	27
その他	△ 39	△ 395	356
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 46</b>	<b>△ 18</b>	<b>△ 28</b>
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 797	△ 1,605	807
現金及び現金同等物の期首残高	5,079	6,684	△ 1,605
現金及び現金同等物の期末残高	4,281	5,079	△ 797

## 株式情報

発行済株式数	株主数
43,140,999株	3,420名

### 所有者別分布状況



### 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,036	9.38
東レ株式会社	3,749	8.71
株式会社北國銀行	2,113	4.91
小松精練松栄会社	1,533	3.56
日本生命保険相互会社	1,284	2.98
株式会社北陸銀行	1,263	2.93
三菱商事株式会社	1,250	2.90
三井住友信託銀行株式会社	1,230	2.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,200	2.79
THE CHASE MANHATTAN BANK,N.A.LONDON SPECIAL OMNIBUS SEC'S LENDING ACCOUNT	1,170	2.72

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 中間配当 3月31日 9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
URL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
1単元の株式の数	100株

公告の方法	電子公告(当社ウェブサイトに掲載) <a href="http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html">http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html</a> ※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行ないます。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

### 住所変更・配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

## 会社情報

### 役員

平成29年6月23日現在

代表取締役会長	中山 賢一	取 締 役	尾野寺 賢	監 査 役	高木 泰治
代表取締役社長	池田 哲夫	取 締 役	奥谷 晃宏	監 査 役	根上 健正
常 務 取 締 役	中山 大輔	取 締 役	向 潤一郎	監 査 役	坂下 清司

### グループ会社

小松精練(蘇州)有限公司	中国・江蘇省蘇州市
株 式 会 社 コ マ ク ソ イ	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
株 式 会 社 パ ッ ゾ	東京都渋谷区
株 式 会 社 セ イ ホ ウ	栃木県足利市

### 会社の概況

商 号	小松精練株式会社	大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号 (ハービスENTオフィスタワー8階)
設立年月日	昭和18年10月8日	東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号 (トランク銀座ビルレディング8階)
資 本 金	46億8,042万円	北陸営業所	石川県能美市浜町又167番地
本 社	〒929-0124	本 社 工 場	(小松精練株式会社 本社2階)
		美 川 工 場	石川県白山市鹿島町1号7番地1 (上海国際貿易センター1913号)
		上 海 事 務 所	上海市延安西路2200号 (上海国際貿易センター1913号)

### 上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

上場証券取引所 市場第一部

上場